

出題 蜷雪ゼミナール

長良北校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の肉の部位の名称が、牛の体のどの部分を表しているのか答えましょう。

- (1) ハツ
- (2) ギアラ
- (3) テッチャン

豆知識 雑学コラム

肉の部位の名前

今日は肉の部位の名前についてです。焼肉屋さんでメニューを見るとたくさん肉の部位が並んでいて、迷ってしまいますよね。しかも部位の呼び方が普段、理科などで使う内臓の呼び方とは違ったり、体のどの部分なのかわからない部位も多いと思います。「ハチノス(牛の第2胃)」のように、なんとなく見た目がイメージしやすい部位もありますが、今

回は肉の部位の名前についてです。焼肉屋さんでメニューを見るとたくさん肉の部位が並んでいて、迷ってしまいますよね。しかも部位の呼び方が普段、理科などで使う内臓の呼び方とは違ったり、体のどの部分なのかわからない部位も多いと思います。「ハチノス(牛の第2胃)」のように、なんとなく見た目がイメージしやすい部位もありますが、今

臓」の「レバー」や「舌」の「タン」も英語の名称から生まれた外来語になります。意外なことに、英語由来の焼肉用語は多いですね。次に、ギアラについてです。ギアラは牛の第4胃の部分です。この「ギアラ」の由来は諸説あります。その中でも、有力な説に「ギャラ」が訛って「ギアラ」になったというものがあります。芸能人がテレビでよく使っているように「ギャラ」は英語の「guarantee」が語源となった言葉で「報酬」という意味ですね。ギアラは、昔、米軍基地で働いていた人が報酬として受け取っていたことからこうした呼び方になったという説があります。「ハツ」や「レバー」のように英語由来ですが、その部位そのものの言い方ではなく、その部位の使われ方からできたというのは面白いですよね。

最後はテッチャンです。焼肉屋さんの店主のあだ名のようなネーミングですが、そういう由来ではありません。テッチャンは「大腸」を表す韓国語が由来です。焼肉屋さんというとビビンバやクツパなど韓国料理のイメージが強いですが、テッチャンも韓国由来の言い方なのです。

岐阜県は飛騨牛や養老町の焼肉街道など焼肉のおいしい地域です。焼肉を楽しみながら、その言葉の由来も考えてみてはどうでしょうか。

【解答】

- (1) ハツ
- (2) ギアラ
- (3) テッチャン

解答(1)